

東京工芸大学が、ロボットの祭典を支援(主催)

—『東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2019』がパシフィコ横浜で開催—

東京工芸大学(学長:義江 龍一郎 所在地:東京都中野区、神奈川県厚木市、以下、本学)が、2019年もロボットの祭典とも言える、ロボットフェスティバル(以下、ロボフェス)を主催することが決定しました。

ロボフェスは、2018年も、パシフィコ横浜にて開催されていますが、今年は、さらに規模を拡大し、引き続き本学が全面的に支援する形で「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2019」として、9月7日(土)、8日(日)にパシフィコ横浜で開催します。

日本は、今や二足歩行ロボットなどを代表にロボット先進国として世界に君臨しています。このようなロボットは、一見スマートに見えますが、実際には機械・電子・情報といった要素技術の複雑な組み合わせで成り立っています。このロボット技術を楽しみながら学べるように、本学内にロボット制作サークル「からくり工房」があります。工学部の准教授 鈴木 秀和(ロボットビジョン研究室)が「からくり工房」を主導し、「マイクロマウス大会」などのロボットコンテストに参加してきました。ロボットビジョン研究室では、高度な技術開発や研究を進める中で、ロボットによるサッカー競技大会「RoboCup」に出場し、全国大会での優勝や、世界大会出場も経験しています。

このように、本学はロボットに関する大会等でも実績を積んでおりますが、日本のロボット技術の高揚と楽しさを、本学が主体となってさらに情報発信していくことも使命と考えています。本学はロボットに関する様々な大会を一堂に開催できるような仕組みづくりとその運営にも主体的に参画し、ロボットフェスティバルの普及に努めていきたいと考えています。

【東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2019について】

「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2019」は、ロボットの祭典です。お子様から大人までどなたでも、観る・応援する・作る・体験する、様々な楽しみ方でロボットの世界を堪能できるイベントです。ロボコンエリアでは、国内でロボットコンテストと言えば必ず名前の挙がる有名なコンテストが揃い、それぞれに異なる面白さ、凄さ、驚きが体験できます。

名称	「東京工芸大学Presents ロボットフェスティバル2019」
開催日時	2019年9月7日(土) 13:00~16:00、9月8日(日) 10:00~16:00
開催場所	パシフィコ横浜 展示ホールB(6,700 m ²) ※来場者数の予測:延べ3,000名以上
主催	東京工芸大学(ロボットフェスティバル 2019 実行委員会)
開催概要	<p>会場構成は、ロボコンエリアと体験エリアを設けています。</p> <p>○ロボコンエリア (5つのロボットコンテストを同会場で開催)</p> <p>①第31回全日本ロボット相撲大会 関東地区大会(昨年実績:約180台登録)</p> <p>②第37回マイクロマウス東日本地区大会(昨年実績:約160台登録)</p> <p>③ROBO-ONE 関東認定大会</p> <p>④ロボカップサッカー中型リーグ ロボットデモ</p> <p>⑤WRO Japan 2019 WeDo Challenge</p> <p style="text-align: right;">※大会参加者は、事前申し込みが必要です。 ※各競技の概要は、後記をご参照ください。</p> <p>○体験エリア</p> <p>各種工作教室を主体に、デモ展示や体験イベントを実施 なお、他には、本学を紹介するコーナーも用意しています。ご期待ください。</p>

後援	神奈川県、神奈川県教育委員会、厚木市、厚木商工会議所あつぎものづくりブランドプロジェクト ATSUMO、ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチーム アトム
協力	東京工芸大学工学部同窓会、公益社団法人全国工業高等学校長協会 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団、富士ソフト株式会社 一般社団法人二足歩行ロボット協会、特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会 NPO法人WRO Japan
協賛	協賛各社
ホームページ	http://www.seit.t-kougei.ac.jp/vision/RobotFestival/
ロゴ	

【各競技の概要】

※**ロボット相撲大会**: 2 台のロボットが土俵の上で戦う競技。ロボット自身が考えて戦う「自立型」と人間が操縦する「ラジコン型」があります。重量 3kg のロボットが予想を超えるスピードとパワーでぶつかり合い、一瞬で勝負が決します。迫力ある戦いが期待できます。

※**マイクロマウス**: 迷路を賢く解くロボットの競技会です。スタートからゴールまで、複雑な迷路を高速で走り抜ける、運動性能と人工知能を組み込んだ小型自律ロボットから目が離せません。迷路を解く競技の他にも、地面に引かれた白線を 賢く速く走る時間を競うロボットレース競技も開催されます。

※**ROBO-ONE (ロボワン)**: 二足歩行ロボットの格闘競技大会です。ロボットの性能を確認する予選を突破したロボット達が、本戦では格闘します。個性あふれる様々な形状、動作のロボット達が、リング上で熱い戦いを繰り広げます。手に汗握るバトルとなります。

※**ロボカップサッカー**: サッカーロボットの競技大会です。ロボットは周囲を把握するカメラを搭載し、人間による操作無しに全て自律でサッカー競技を行います。レフェリーのホイッスルに合わせて、ロボット自身が考えた場所に移動し、ゴールに向かってボールを運び、シュートします。

※**WRO Japan 2019 WeDo Challenge**: 6～10歳の子供たちがレゴ® WeDoを使用してロボットを組立て、プログラムをし、様々な競技、課題に挑戦する競技大会です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 広報課 TEL 046-242-9600

e-mail: university.pr@office.t-kougei.ac.jp